

PSWとして東南海地震に備える ～今すぐ出来ること・準備すべきこと～

去る4月14日に発生しました熊本地震につきましては、皆様の記憶に新しいことかと思ます。今年度の例会はPSWとして東南海地震にどう備えていくべきかを考えられる企画内容としました。

I部で愛知県の災害派遣精神医療チーム(DPAT)の隊長として実際に熊本に支援に入られた愛知県精神医療センターの平澤先生にDPATの役割や活動報告等をご講演いただき、II部では、半田市社会福祉協議会の前山さんに全国的にも評価されている半田市社会福祉協議会のBCP(事業継続計画)を中心とした組織としての防災・減災対策について話題提供をして頂きます。

お二人の話を受けて、PSWとして何が出来るのかを皆さんと考える機会としたいと思います。

平成28年9月17日(土) 会場：安城市文化センター 大会議室
午後1時45分～午後5時30分(受付：午後1時30分～)
会費：会員は500円・非会員は1,000円

講師紹介：平澤克己氏

愛知県精神医療センター 総合医療部長
1992年に旭川医科大学卒業され、2年間の初期研修を経て、1994年名古屋大学精神医学教室に所属し精神科医としてのキャリアをスタート。
1996年から2010年まで医療法人北林会北林病院に勤務され、その後は愛知県立城山病院(現 愛知県精神医療センター)に異動され、2015年より現職(総合医療部長)となる。
2016年4月の熊本地震後に、愛知県のDPATの隊長として、熊本県に派遣され現地の支援にあたられました。

講師紹介：前山憲一氏

半田市社会福祉協議会のふくし支援グループのグループ長として、地域包括支援センター・障がい者相談支援センターの統括業務をされながら、地域の視点を大事にした地域福祉実践をされています。今回話題提供頂く、BCP(事業継続計画)の策定にも尽力され、策定後は県内外にて講演活動も行われています。

当日のスケジュール(予定)

時間	予定
13:45～ 13:55	オリエンテーション
13:55～ 15:25	講演：平澤克己先生 「DPATの活動報告を通して今後の備えについて考える(仮題)」
15:25～ 15:35	休憩
15:35～ 16:20	話題提供：前山憲一氏 「半田市社会福祉協議会の防災・減災対策」
16:20～ 17:05	グループワーク
17:05～ 17:20	愛知県精神保健福祉士協会災害対策支援活動委員より案内
17:20～ 17:30	クロージング

例会担当 医療法人義興会 可知記念病院 (医療相談室)
〒441-8555 愛知県豊橋市南大清水町字富士見456番地
TEL・FAX共通：0532-26-0272 (直通)
メール：kachi@mx2.tees.ne.jp